

姉妹都市交流内容（岩手県宮古市）

| 年月日 | 内 容 |
|-------------|---|
| 昭和40年 | 黒石市で開催された東北市長会総会の際、姉妹都市について話し合いがもたれる |
| 昭和41年 4月 1日 | 姉妹都市締結調印式 |
| 9月 | 宮古岩手ライオンズクラブと黒石ライオンズクラブが姉妹クラブを締結 |
| 昭和46年 | 宮古市暁野球協会と黒石地区朝野球連盟が交流試合を開催 |
| 昭和55年 | 黒石よされ観光キャラバンが宮古市でキャンペーン 両市老人クラブが相互訪問 両市観光物産展を開催（以後不定期開催） |
| 昭和58年 | こけしの里マラソン大会に宮古市民ランナーが参加 |
| 昭和59年 | 黒石市制施行30周年を記念し、宮古市へ年輪大使を派遣 |
| 昭和61年 | 姉妹都市締結20周年記念祝賀会を両市で開催 婦人団体研修交流会及び婦人会芸能大会の開催 年輪親善大使による植樹 両市職員交流会の開催 海の子山の子体験交流学習会の開催（以後平成17年度まで毎年開催） 黒石青年会議所と陸中宮古青年会議所が姉妹提携 |
| 昭和62年 | 宮古サーモンハーフマラソン大会に黒石市民ランナーが参加 |
| 平成元年 | 黒石市職員労働組合と宮古市職員労働組合が交流会を開催（以後定期的に開催） |
| 平成2年 | 青森県立黒石商業高校と岩手県立宮古商業高校が姉妹校を締結 浅瀬石川（黒石市）を会場にさけ稚魚放流会を開催（以後平成6年度まで毎年開催） |
| 平成3年 | 宮古市制50周年記念・姉妹都市締結25周年記念事業を通年で実施 |
| 平成4年 | 三陸海の博覧会に黒石市民が参加 |
| 平成6年 | 黒石市制施行40周年記念事業を実施 宮古市民潮干狩りに黒石市民が参加（以後平成18年度まで毎年参加） 宮古ポート&シップフェスティバルに黒石よされ隊が参加 |
| 平成7年 | 宮古市職員を講師とした新巻鮭講習会を黒石市で開催（以後平成16年度まで開催） 黒石市から宮古市産業まつりに参加（以後毎年参加） 宮古市から黒石りんごまつりに参加（以後毎年参加） |
| 平成8年 | 姉妹都市締結30周年記念祝賀会を両市で開催 通年で記念事業を実施 |
| 平成9年 | 熊坂宮古市長が黒石市を表敬訪問 |
| 平成10年 | 鳴海黒石市長が宮古秋祭りに参加 |
| 平成11年 | 熊坂宮古市長が黒石ねふた祭り出陣式に出席 |

| | |
|----------|--|
| 平成12年 | リンゴとサケの街市長交流事業で熊坂宮古市長と鳴海黒石市長の一日市長交代勤務を実施 黒石ねふた祭りに宮古市民25人が参加 |
| 平成13年 | 宮古市制60周年記念式典に鳴海黒石市長が出席 |
| 平成15年 | 宮古市広域総合交流促進施設及びタラソテラピー施設『シートピアなあと』落成記念式典に黒石市長（代理：農林部長）及び市議会議長が出席 |
| 平成16年 | 黒石市制施行50周年記念式典に熊坂宮古市長及び市議会議長が出席 |
| 平成17年 | 宮古市合併記念式典及び姉妹市村・友好都市交流会に黒石市助役、職員が出席 |
| 平成18年 | 姉妹都市締結40周年記念祝賀会を両市で開催 （黒石市7/30、宮古市9/17） 海の子山の子20周年祝賀会を黒石市で開催（熊坂宮古市長ほか23人参加） 潮干狩り宮古のたび：5/27～5/28 みやこ秋まつり：9/17～9/18 お出かけ講演会（両市長が相互訪問し講演を実施） 宮古市長→黒石市11/2、黒石市長→宮古市11/13 |
| 平成19年 | 宮古市潮干狩りに黒石市民11人が参加 |
| 平成20年 | 宮古市潮干狩りに黒石市民13人が参加 |
| 平成21年 | 宮古市潮干狩りに黒石市民24人が参加 |
| 平成23年 3月 | 東日本大震災発生 「姉妹都市宮古市救援金」の受付を開始 黒石市副市長を含む7人が宮古市へ救援物資を搬送 宮古市現地調査（田老地区）へ黒石市職員4人を派遣 黒石市職員互助会（70万円）を含む救援金210万円を宮古市へ贈呈 |
| 4月 | 宮古市現地調査（津軽石地区）へ黒石市職員5人を派遣 救援金500万円を宮古市長へ贈呈 |
| 5月 | 宮古市へ黒石市職員を派遣（12月2日まで） （2人1組、1週間交代で計60人を派遣。事務補助業務に従事） 黒石市職員とやきそばのまち黒石会会員からなる炊き出しボランティアが津軽石小学校で「黒石つゆやきそば」を振る舞う |
| 7月 | ふれあいボランティアストリート屋台村（1回目）を仮設住宅グラウンド（赤前地区）で開催 |
| 8月 | 鳴海黒石市長が山本宮古市長へ救援金500万円と災害見舞金500万円を贈呈（姉妹都市宮古市救援金：送金合計額1,000万円） |
| 10月 | 黒石市の小中学校、養護学校（15校）の生徒が作成した千羽鶴を宮古市内の小中学校、県立恵風支援学校の計23校へ贈呈 ふれあいボランティアストリート屋台村（2回目）を重茂漁協駐車場で開催 |

| | |
|----------|---|
| 11月 | 宮古商業高校と宮城県蔵王町(株)湧水が共同開発した飲料水(2,000本)を黒石りんごまつりの来場者へ無料配布 |
| 12月 | 救援金80万円を山本宮古市長へ贈呈(姉妹都市宮古市救援金:送金合計額1,080万円) |
| 平成24年 2月 | 宮古市災害支援ボランティアふれあいサロンを宮古市近内地区センターで開催 |
| 4月 | 宮古市へ黒石市保健師を派遣(1年間、4か月交代で計3人) |
| 8月 | 宮古市災害支援ボランティアふれあいサロン(金魚ねふたを一緒に作ろう)を宮古市西ヶ丘地区センターで開催 |
| 9月 | 宮古市災害支援ボランティア(みやこわくわくまつり~ありがとう・元気2012~)に、黒石市ボランティア連絡協議会会員、黒石商業高等学校生徒など29人が参加 宮古秋まつり及び産業まつりで「黒石つゆ焼きそば」を振る舞い 宮古市役所、宮古駅前、宮古市役所前に大型こけし灯ろうを展示 |
| 10月 | 宮古市災害支援ボランティアふれあいサロン(干支ねふたづくり・おしゃべりサロン)を宮古市内(愛宕公園・河南・西ヶ丘近隣公園・近内地区)の仮設住宅集会所で開催 |
| 11月 | 宮古市災害支援ボランティアふれあいサロン(干支ねふたづくり・おしゃべりサロン)を宮古市内(鍬ヶ崎オデンセ2号・荷竹農村公園・日の出・崎山)の仮設住宅集会所で開催 |
| 平成25年 4月 | 宮古市へ黒石市保健師を派遣(8か月、1か月交代で計8人) |
| 6月 | 宮古市災害支援ボランティアふれあいサロン~3.11を忘れないために~を宮古市内(河南仮設集会所・西ヶ丘地区センター・おでんせプラザ)で開催 |
| 7月 | 宮古市災害支援ボランティアふれあいサロン~3.11を忘れないために~を宮古市内(愛宕公園仮設集会所・鍬ヶ崎小学校仮設集会所・おでんせプラザ)で開催 |
| 8月 | 宮古市森・川・海体験交流事業に、牡丹平小学校・浅瀬石小学校・中郷小学校の児童31人が参加 |
| 9月 | 宮古市災害支援ボランティアふれあいサロン~3.11を忘れないために~として、みやこわくわくまつりに黒石市ボランティア連絡協議会会員、黒石商業高等学校生徒など32人が参加 |
| 10月 | 宮古市産業まつりで「黒石つゆやきそば」を振る舞い 宮古駅前へ大型こけし灯ろうを展示 宮古市災害支援ボランティアふれあいサロン~3.11を忘れないために~として、田老地区体育大会に黒石市ボランティア連絡協議会会員、黒石商業高等学校生徒など89人が参加(「黒石つゆやきそば」の振る舞いと屋台村の開催、大型こけし灯ろう展示) 宮古市町内自治会連合会(13人)が視察研修のため黒石市を訪問し、黒石市上十川地区振興協議会と意見交換会を開催 |

| | |
|----------|---|
| 11月 | 宮古市災害支援ボランティアふれあいサロン～3.11を忘れないために～を宮古市内（田鎖仮設集会所・日の出町仮設集会所・おでんせプラザ）で開催 |
| 平成26年 1月 | 救援金25万円を山本宮古市長へ贈呈（姉妹都市宮古市救援金：送金合計額1,135万円） |
| 4月 | 「姉妹都市宮古市救援金」を「姉妹都市宮古市津波遺構保存基金寄附金」に移行 |
| 6月 | 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～を宮古市内（宮古駅前復興市、愛宕小学校仮設集会所、オデンセ2号集会所）で開催 |
| 7月 | 黒石市制施行60周年記念式典及び祝賀会に、山本宮古市長及び市議会議長ほか25人が出席 山本宮古市長から鳴海黒石市長へ100万円の寄附金を贈呈 宮古市と黒石市で初めて共同開発した「宮黒サイダー」を発売 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～を宮古市内（おでんせプラザ・鍛ヶ崎仮設住宅・清寿荘隣接仮設住宅）で開催 |
| 9月 | 宮古市森・川・海体験交流事業に、浅瀬石小学校、中郷小学校、黒石東小学校、東英小学校の児童20人が参加 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～として、みやこわくわくまつりに黒石市ボランティア連絡協議会会員、黒石高等学校、黒石商業高等学校生徒など37人が参加 |
| 10月 | 宮古市産業まつりで「金魚ねぷた（折り紙）作成ブース」を設置 宮古市への心の復興支援（スポーツ交流編）事業に、宮古市から野球・テニス・ソフトテニス各団体ほか61人が参加し、黒石市で交流会及び交流試合を実施 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～として、田老地区体育大会に黒石市ボランティア連絡協議会会員、黒石高等学校、黒石商業高等学校生徒など68人が参加 |
| 11月 | 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～を宮古市内（おでんせプラザ・河南仮設住宅・清寿荘隣接仮設住宅）で開催 |
| 平成27年 2月 | 黒石市・宮古市職労青年女性部交流会を黒石市で開催し、宮古市から19人が出席 |
| 4月 | 宮古港開港400周年記念式典・交流会に高樋黒石市長が出席 津波遺構保存基金寄附金20万円を山本宮古市長へ贈呈（姉妹都市宮古市救援金と合わせた送金合計額：1,155万円） |
| 6月 | 宮古市災害復校支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～を宮古市内（おでんせプラザ・よっとでんせ・グリーンピア三陸みやこグラウンド仮設集会所）で開催 |

| | |
|----------|---|
| 7月 | 宮古市森・川・海体験交流事業に、牡丹平小学校、黒石東小学校の児童34人が参加 |
| 9月 | 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～を宮古市内（おでんせプラザ・磯鶏（実田）災害公営住宅）で開催 |
| 10月 | 宮古市産業まつりで「金魚ねふた（折り紙）作成コーナーを」設置 |
| | 宮古市への心の復興支援（スポーツ交流編）事業に、黒石市の卓球・バドミントン各団体ほか27人が参加し、宮古市で交流会及び交流試合を実施 |
| | 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～として、田老地区体育大会に黒石市ボランティア連絡協議会会員、黒石高等学校、黒石商業高等学校生徒など46人が参加 |
| 11月 | 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～を宮古市内（おでんせプラザ・西町公営住宅・児童相談所仮設住宅）で開催 |
| 平成28年 3月 | 宮古市東日本大震災五周年追悼式に高樋黒石市長が出席 |
| 4月1日 | 姉妹都市締結50周年 |
| 5月 | 宮古市のバレーボール・剣道の選手22人が、黒石市で交流会及び交流試合を実施（黒石市体育協会・宮古市体育協会主催） |
| 6月 | 宮古市災害復校支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～を宮古市内（おでんせプラザ・上鼻災害公営住宅）で開催 |
| | 黒石市のこけし駅伝大会に宮古市から3チーム(25人)が参加 |
| 7月 | 姉妹都市締結50周年記念祝賀会を黒石市で開催し、山本宮古市長ほか46人が出席 |
| 8月 | 未来を語ろう中学生交流事業に中郷中学校の生徒19人と宮古市内の中学校の生徒が参加し、宮古市で意見交換会を実施 |
| 9月 | 宮古市産業まつりで「金魚ねふた（折り紙）作成ブース」を設置 |
| | 宮古市産業まつりイベントステージに、黒石市の津軽民謡チームと黒石高等学校チアリーディング部が出演（伝統芸能のイベント相互出演事業） |
| | 芸術文化交流事業に、黒石市の俳句・囲碁・将棋各団体ほか18人と宮古市内の関係団体が参加し、宮古市で交流会を実施 |
| 10月 | 黒石地酒まつりで宮古市がブースを出店し、宮古市の地酒や海産物を販売 |
| | 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～として、田老地区体育大会に黒石市ボランティア連絡協議会会員、黒石高等学校生徒など36人が参加 |
| | 学ぶ防災職員研修事業に黒石市職員8人が参加し、防災について研修 |

| | |
|----------|--|
| 11月 | 自主防災組織研修事業に、黒石市の自主防災組織関係者25人が参加し宮古市で研修会を開催 |
| | 黒石りんごまつりイベントステージに、宮古市の田代念佛剣舞保存会、宮古山口太鼓の会などが出演(伝統芸能のイベント相互出演事業) |
| | 宮古市民文化会館で黒石市の児童生徒の作品45点、スポカルイン黒石で宮古市の児童の作品49点を各2日間展示(児童生徒の作品交換展示事業) |
| 12月 | 姉妹都市締結50周年記念祝賀会を宮古市で開催し、高樋黒石市長ほか32人が出席 |
| | 宮古鮭まつりで、山本宮古市長と高樋黒石市長による「津軽石川伝説の再現セレモニーを」実施 |
| 平成29年 8月 | 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～を宮古市内(西ヶ丘近隣公園仮設住宅・県営磯鶏災害公営住宅)で開催し、黒石市ボランティア連絡協議会会員、黒石高等学校生徒など33人が参加。 |
| 9月 | 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～を宮古市内(山口災害公営住宅・おでんせプラザ)で開催し、黒石市ボランティア連絡協議会会員、黒石高等学校生徒など25人が参加。 |
| 10月 | 宮古市災害復興支援ボランティアサロン～3.11を忘れないために～として、田老地区体育大会に黒石市ボランティア連絡協議会会員、黒石高等学校生徒など46人が参加。 |